

講師のひとりごと

『Shall we ダンス?』 周防正行監督が社交ダンスを題材に製作した映画『Shall we ダンス?』が大ヒットし、社交ダンスが脚光を浴びることとなった一九九六年。映画を見た私も例外無く影響を受け「いつか社交ダンスがしたい」と考えていました。そして、その「いつか」はなんと十六年後にやってきました。妻の知人の紹介で社交ダンス教室を見学に行く事になったのです。

お奨め図書のコナー

『毎日が自分との戦い』 日本経済新聞出版社 金川 千尋著 高成長を維持する信越化学工業のトップである金川氏が、これまでの経歴と共に経営に関してさくばらんについています。

中途入社から、日本を代表する企業のトップに上り詰めた社長の、経営に関する考え方、働く姿勢、社員との接し方や態度などは、リーダークラスには是非とも読んで欲しい内容が沢山詰まっています。

私共はいつの間にか、常識というモノにとらわれ、本質を見誤ってしまうことがあります。金川社長は著書の中で、

『逆境を生き抜く力』 我喜屋 優著 WAVE出版 二〇一〇年、甲子園春夏夏連覇を成し遂げた沖縄の興南高校監督の著書です。圧倒的な実力で連覇を達成した背景にどのような要因があったのか、この一冊に凝縮されています。

したが、レッスン時間と重なっていたようで待つ事になり、その間ダンスフロアを眺めていました。目の前には先生からリードされたステップを確認する中年男性や、若い男女のペアがキラキラある動きで情熱的に踊っていました。ダンスのレベルはそれぞれ違っているようでしたが、ダンス未経験者の私には「憧れのダンサー」という意味で、崇高な存在に感じられました。その後、若い女性の先生が来て、私達二人にダンス経験や見学に来た理由について質問し、実際に体験してみようということになりました。「マンボ」と「ジルバ」の基本ステップを教わり挑戦しましたが、一見簡単そうに見えるステップも、やってみると想像以上に難しく、映画の役所広司のように苦

戦しました。足の動きにばかり気を取られていた私に対し、先生は教え方を変え「体重移動」という観点から指導してくれました。すると先程まで出来なかったステップが容易に出来るようになったのです。生徒に合わせて指導の仕方を瞬時に変えるところを見て、「流石プロだな」と感心させられました。又、終始笑顔で活き活きと指導する姿は、とても好感が持て「この人から教わりたい」と思わせる魅力となって伝わってきました。ダンスだけでなく、教える人という点からも大変刺激を受けました。当社で行っている研修とは違う世界の話ではありますが、相手を見て指導する、活き活きと仕事に励むということは大切な事だと改めて感じました。

まだまだ厳しい冬が続く、春が待ち遠しい今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、突然ですが「趣味は何ですか?」という質問をされた場合、何と答えますか? ハッキリと答えられるものはありますか? 複数答えられる方、一つの事に集中している方等様々だと思います。どちらにせよ、熱中出来る趣味があれば人生を豊かにさせ、人間的魅力をも引き出してくれます。仕事以外でも、何かに集中し、励んでいる姿は輝いて見えます。「無趣味」という方も時間を作り、新しいことを始めて見ると様々な発見があり、熱中出来る趣味が見つかるかも知れませんね。

ビジネス教育訓練所(株) 所在地 仙台市青葉区愛子中央3-16-2 TEL 022-392-5511 FAX 022-392-5039 URL http://www.business-k.co.jp

編集後記

まだまだ厳しい冬が続く、春が待ち遠しい今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、突然ですが「趣味は何ですか?」という質問をされた場合、何と答えますか? ハッキリと答えられるものはありますか? 複数答えられる方、一つの事に集中している方等様々だと思います。どちらにせよ、熱中出来る趣味があれば人生を豊かにさせ、人間的魅力をも引き出してくれます。仕事以外でも、何かに集中し、励んでいる姿は輝いて見えます。「無趣味」という方も時間を作り、新しいことを始めて見ると様々な発見があり、熱中出来る趣味が見つかるかも知れませんね。

ビジネス教育訓練所株式会社 閃光編集部 スタッフ一同

閃光

平成二十四年如月号



研修旅行

十二月中旬、研修旅行として、ベトナムに行ってきました。社員の見聞を広げ、成長してもらいたいという狙いで、定期的に海外旅行を実施している。実際、私を始め全社員大いに刺激を受け、又考えさせられたことが多く旅行であった。今回は、ホーチミンに行ったのだが、到着するなり驚いたのはバイクが洪水のように走っている光景だった。信号も少なく、無視する人もあり、ハラハラさせられる通行ぶり。国の成長に法がまだ追いついていない様子だった。生活水準も、日本の三十年前前のように、国民全体が国をより繁栄したいという思いで活力に満ち溢れている印象を強く受けた。ベトナム戦争の悲惨さが分かるような施設を何箇所が見学したが、枯葉剤をまかれ人間とは思えないような姿の写真や虐殺された生々しい写真を見ると戦争のむごさや愚かさや嫌な感じがほど感じさせられた。ベトナム人の案内役が「アメリカに負けなかったのはベトナムだけだ」と強い口調で語ったことにベトナム人の誇りを持つていると感銘を受けた。ベトナム戦争で失うものが多かったはずなのに、復興し、先進国の仲間入りしようという思いが垣間見られた。日本は戦後焼け野原から立ち上がり、復興のため必死に働き高度成長を成し遂げ、先進国になってから、慢心したのか活力がなくなってきたところがあるので、是非見習いたいものだ。当社の若い社員は、ベトナムのパワーに刺激を受けモチベーションが高まってきたことは大きな収穫の一つである。社員の感想では、挨拶の基本を再認識したと言っていた。ベトナム語で、ベトナム人に挨拶しても反応がなかった。なんでだろを考えた目を見て挨拶すると挨拶が返ってくる。つまり、アイコンタクトがいかにか大事かわかったというところである。目と目を合わせることで挨拶およびコミュニケーションの基本ということだろう。挨拶の指導している彼らにとって、また強調して教育していくため良いヒントになったことも収穫の一つである。十二月の忙しい時期で、あつという間の五日間の研修旅行だったが、充実した日を過ごすことが出来た。

ビジネス教育訓練所株式会社 代表取締役 三塚 信二

営業マン特訓五日間合宿

十二月三日(土)〜七日(水)

師走に入り一段と寒くなった十二月月上旬、東北と関東から営業マンが参加し、今年最後の営業マン特訓五日間合宿が開催されました。今回は自動車販売業とサービス業の二十代から三十代までの営業マンが参加しました。今回は少人数での実施となり、序盤は以前別の研修に参加していた訓練生が牽引する形で訓練が進んで行きました。初参加の訓練生も負けじと訓練に励み、毎回苦戦者が出るプロセールス七箇条審査は、三日目には全員が合格しました。しかし、飛び込み営業を想定して行うアプローチ審査や、初めてのお客様様に電話をかけたアポイントを取る電話アポ審査では、緊張のためか硬くなってしまうたり、不適切な言葉を使ってしまうたりとなかなか点数が伸びませんでした。「普段はもっと自然にできていたはずなのに・・・」と苦悩の表情を浮かべる訓練生もいました。その度に「頑張れ」「笑顔、笑顔」

「さあ、元氣出して行くぞ」という励ましの言葉が他の訓練生から掛けられ、その都度気持ちは奮い立たせて審査に臨む姿が印象的でした。商談審査では、質問法が上手く使いこなせず、営業マンから一方的に質問し、尋問のようになってしまった。商品説明では感情を込められず、お客様の興味を引きつけられないという問題点が浮き彫りになりました。修正するために何度も審査を繰り返したところ、徐々にスムーズにそして熱意を持って商談できるようになって行きました。最後はクロージングを打ち、商談が成立すると嬉しさを安堵感から倒れ込む訓練生も見られ、並々ならぬ思いで審査に取り組んでいた事が見えている側にも伝わってきました。今後も、今回の合宿で見せた闘志を忘れず、職場に戻ってからも、合宿で学んだことを十二分に発揮し、今まで以上に活躍されることを、講師一同祈っております。



参加者の声

「本気で全力で取り組む！」

参加するまでは不安でいっぱいでした。しかし訓練が始まると、そんな事を考えている暇はありませんでした。三日目でプロセールス七箇条審査に合格したのが少し自信になりました。歌唱・アプローチ・電話アポイント・卒業審査が自分にとって高いハードルだっただけに、合格するまでの不安と合格した時の喜びは一番大きいものでした。今回の訓練で自分の気持ちに手を添えてくれる「本気で全力で取り組む」という事を教えていただきました。心から感謝しています。先生方には色々とお迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。これからもお体に気をつけて頑張ってください。

教育コラム

マナー実践三日間合宿
十二月十日(土)～十二日(月)

管理者特訓六日間合宿
一月十六日(月)～二十一日(土)

【目標設定】
一年の計は元且にありといいますが、社員教育においては、導入時が一番の要です。つまり研修を実施する前に目的を明確にした教育計画を立てることが、教育効果をより高めるに当たり必要不可欠となります。教育計画となる外部研修を想定する場合はありますが、今回はより身近な職場内教育、E2における目標設定と、その進め方についてお話しします。

さて、目標設定にあたり必要なことは、まず目標を明確にすることです。目標がないと、これくらいで良いという怠惰な気持ちに流されやすい人がいます。ですから現状に満足せず、やらざるを得ない状況をつくることこそが必要なのです。

次に、目標を立てるためには現状を良く把握することが必要です。現状の仕事のレベルは適切なのかという能力面、仕事の知識はどれ程あるのかという知識面、その他にも礼儀はきちんとしているか、職場内のチームワークを乱していないか等、個人的なスキルだけではなく、人間性や周りに与える影響も含めてしっかりと把握しましょう。

そして現状を把握したらその少し上を目指して目標を設定しましょう。達成するのが到底不可能な高い目標や、既に達成している低い目標ではモチベーションは上がりません。頑張れば達成できる目標が適切だと言えます。

また、適切な目標を設定するためのアプローチの方法として以下の3つが挙げられます。基本能力の内欠如しているものを挙げ「欠点列挙法」基本能力の内更に高めたいものを挙げる「希望点列挙法」理想的な能力の持ち主になるため何をすればよいのか挙げる「理想点列挙法」です。これらを使い分けて適切な目標設定を行います。

最後に、目標を達成するためには明確な育成計画が重要です。いつまでにどのレベルまでと具体的に計画し、手段・方法も適切に選択しましょう。また、計画にとらわれてしまい手段が目的になってしまう事も懸念されます。想定以外の状況になったら育成計画の修正も必要なのです。より良い教育計画を立案し、良い年度初めを迎える準備をしましょう。



研修の様子

今般のマナー実践では、宮城・関東の企業から訓練生が集まりました。マナーの知識を知識ではなく体得することを目的とし、密度濃く三日間の訓練を行いました。

参加者は皆二十代と若く、とても吸収力がありました。しかし、マナーの本質を理解していかねばならず、状況に応じて取るべき行動は分かっているが、何故そうすることが相手への「思いやり」になるのかという視点が不足していました。

そんな訓練生に変化が感じられるようになったのが二日目からで、訓練生同士で指摘し合う機会が増え、どうすれば相手に伝わるのか、満足して頂けるのかというマイディアを出し合うようになりました。

自分本位ではなく、常に相手のことを先に考える、自分で気づけなかった点を他者から指摘してもらい、素直に受け止める。当たり前のようなことでも、意識しなければ薄れてしまうことを認識し、互いに意識を合おう工夫をするようになりました。

結果、相手へ与える印象が変わり、失敗しても何故失敗したのかを本人が明確に自覚できるようになったため、成長スピードが著しく加速していきました。

マナーとは「相手への思いやり」ということを学ぶことができた訓練生は、最終日には目を輝かせて秋保の地を後にしました。今後失敗をしましなうこともあるかもしれませんが、型にはまらず、時にはその時で相手のために最前を尽くす気持ちがあれば、若実に成長していくことでしょう。そのためにも、時代の流れと共に変化していくマナーをしっかりと把握し、学び続けて欲しいと思います。

今回は、北は青森から、南ははるばる長崎から、訓練生が集まりました。また、社長から次期管理者までと、階層も幅広く集まり、熱い訓練が行われました。

今回の訓練生の特徴として、スピーチが苦手だったことが挙げられます。各スピーチ審査では、いつも以上に苦戦の連続で、皆スピーチすると絶句の連続でした。そのため、スピーチの基礎から指導し、体得するまで何度も挑戦させました。

合宿参加前までは、スピーチする機会は多かったです。意識的に避け、逃げてきたこともあり、今回の各審査では、今までの自分の管理者としての取り組みの甘さや、管理者としての姿勢、気概がでていなかったことを痛感していました。その中、悪戦苦闘しながら、スピーチの基本、人に思いを伝える重要性や方法を訓練生なりに気付き、体得していききました。

また今回は、宿舎である山菜荘に泊まりに来たいた埼玉県の社長様が、訓練の様子に興味を示し、せっかくだからと訓練の様子をご覧になっていただきました。時間は僅かでしたが、刺激になり、勉強になったと言ってお帰りになりました。

社長の悩みとしては、中間層の社員をどうにかしたいとのこと。私共も各企業様にお邪魔させて頂いていますが、やはり中間層の教育に悩んでいる社長様が多く、最近更に当社に対する期待の高さ、ニーズをヒシヒシと感じています。今回参加された訓練生が、期待に応えられるよう頑張ってください。

日本の正月料理

「おせち」という言葉はもともと「お節句」が変化したもので、いわゆる五節句に神前にささげる節句料理の総称でした。

1年で一番大切なお正月料理だけに「お節」という言葉が残ったといわれています。お正月におせち料理を食べるのは、正月の3日間女性が休養できるようにとよく言われますが、本来は、神様を迎えている間は物音をたてたり、騒がしくせず、台所で煮炊きをするのを慎むというところからきています。料理の一つ一つには由来があります。以下、代表的な物をご紹介します。

- 田作り(ごまめ) カタクチイワシの子どもを干したものです。昔は稲を植える時に田んぼにゴイワシを細かくきざみ灰に混ぜて肥料にしました。今年もいとお米がとれますようにと願いを込めて、田作りと呼ばれています。豊年豊作祈願。
- 数の子 ニシンの卵。ニシンのことを「カド」というので、カドの子がなまって数の子になったと言われています。数の子には、子がたくさん生まれて代々栄えますようにという願いがあります。
- きんとん 「金団」と書き、財宝という意味があります。今年も豊かな生活が送れますようにとの願いが込められています。
- 黒豆 家族みんなが今年も1年まめに(元気に)過ごせますように、まめに働けますようにという意味があります。関西風は丸くふくらと煮ますが、関東風は「しわの寄るまで長生きできるように」としわができるように煮上げます。
- 昆布巻 こんぶは「よろこぶ」と同音になることから、おめでたい食材とされています。
- 煮物 大切にした野菜などを鍋に入れていっしょに煮しめていく「お煮しめ」は、家族が仲良くいっしょに結ばれるという意味があります。
- えび料理 ゆでたり焼いたりすると、えびの背が丸くなることから、腰が曲がるまで長生きできますようにという願いが込められています。
- なます 色の白い大根は清らかな生活を願っていただきます。また、大地に根をはるので、家の土台がしっかりして栄えるとも言われています。
- だてまき 卵を使った料理は子孫繁栄の象徴とされています。また、「伊達」とは華やかさ、派手さを形容します。華やかでしゃれた卵巻き料理ということで、お正月のお口取り「ハレの料理」として用いられました。語呂合わせや子孫繁栄の祈りというより色や形からおせち料理に登場するようになったようです。
- また、巻物に似ているので、文化発展を願う縁起ものという説もあります。
- 鯛 おめでたいに通じる語呂合わせ。江戸時代にはじまった七福神信仰とも結びつき、鯛はおめでたい魚としてあまりにも有名。
- 桜 代々に通じる語呂合わせ。子孫が代々繁栄するように。
- 紅白かまぼこ かまぼこははじめは竹輪のような形をしていました。やがて江戸時代、様々な細工かまぼこが作られるようになると、祝儀用として欠かせないものになっていきました。
- 金平ごぼう 江戸時代の浄瑠璃の坂田金平武勇伝の豪傑金平にちなんで、滋養たっぷりのごぼう料理を「きんぴらごぼう」と呼ぶようになり、強さと丈夫さを願った。
- 紅白なます お祝いの水引をかたどったもの。

三月の研修のご案内

営業マン実践三日間合宿 三月四日～六日

営業の理論が分かっている結果が出なければ良い営業マンとは言えません。「短期間で成果が出るような研修を」という要望にお応えして、営業戦略を立てたり、アプローチ・クラッチ・電話アポ・クロージングの実践訓練を初め、講義や顧客管理のアイデア等、三日間で大変密度の濃い内容になっております。

新入社員教育四日間合宿 三月十三日～十六日

挨拶・礼儀・礼節などのコミュニケーションの基本や職場のビジネスマナーを育成します。具体的には電話応対や報告などロールプレイングをする訓練やビジネスマナーテスト、講義を通じて習得します。さらに各段階に審査を設け、合格するまで徹底的に鍛えますので、学生気分を払拭させ、早く一人前の社会

ビジネス人特訓四日間合宿 三月十三日～十六日

基本動作を中心に各審査を通して徹底的に鍛えます。中途採用者やビジネスの基本を今一度しっかり学んで欲しい方にピッタリです。各審査全てを合格しない限り延長となってしまいませので、仕事に対する姿勢や考えが甘いとお悩みの社員も派遣頂き大変好評を頂いております。

管理者特訓六日間合宿 三月十三日～十八日

管理者としてのマネジメント能力の開発及び、管理者として正しいものの考え方と行動作法を身につけます。部下に対する指導や接し方、職務における自分の行動を振り返り、心技体ともに鍛えながら一回り成長するまで意識改革を促します。訓練を通してリーダーシップが身に付くよう妥協せず指導していきます。

お陰様で創業25周年
感謝の気持ちを込めて、代表による記念講演を行います。

記念講演の詳細につきましては、お問い合わせ下さい。2月までの期間限定です！ TEL:022-392-5511